



農業保険実施能力向上プロジェクト ニュースレター

2022年2月

農業保険の持続的な指導者育成をめざして

プロジェクトでは2021年にAUTP (実損補填型コメ保険) のプロジェクト対象地域である東ジャワ州と南スラウェシ州で農業普及員向けに、2回の農業保険の指導者育成研修を行いました。プロジェクトは、2022年に更なる研修を計画しており、今後、農業省とBAPPENAS (国家開発企画庁) が継続して研修を運営できるよう調整を進めています。次回の研修では、農業省による研修へ、どのように農業保険に関する内容を組み込むかについて検討するため、農業省管轄の農業普及人材開発庁農業普及センターの職員も参加します。研修は3月の予定で、プロジェクト主催の最後の研修となるため、これまでに実施した研修からの教訓を生かし、よい良い研修となることを目指して準備中です。



↑ 関係各機関がオンラインで調整会議



↑ 研修内容を説明する専門家

AYIIパイロット実施に向けて

2021年に引き続き、2022年に実施するAYII (収量インデックス型農業保険) のパイロット事業に向けた準備が進んでいます。中部ジャワ州ケンダル県では過去の収量データが分析され、保険料が設定されました。西ジャワ州カラワン県では現在進行中のパイロット事業に続く二作期目の実施となり、ガイドライン改定や関係者用の手順書作成などの作業が進みつつあります。

→ 農業省でガイドライン改定会議



パイロット地区での収穫

1月25日、JICA専門家チームと農業省がカラワン県農業局を訪れ、意見交換とパイロットサイトにおける収穫期のCCE (ツボ刈り調査) の様子を視察しました。

